

同窓会報

発行：2003年5月18日
横浜市立南高等学校同窓会
事務局：電話 045-712-1040
FAX 045-743-4475

交流の輪を広げよう

同窓会も今年で発足から18,517名の会員をお迎えしたことになります。昨今、年ごとにお迎えする卒業生が減少し、やや寂しさを感じていますが、毎年若い方に入会頂けることは組織活性化の上で大切です。同窓生は、還暦を迎え第二の人生を歩き始めた方からフレッシュマンまで、年齢構成に厚みが増してきました。社会で活躍する同窓生も多くみられます。

会長 松村 祥男

現在の同窓生の交流は、同期生あるいは部活OBの交流が中心になっていると思われるのですが、これからは更に交流の輪を広げるために同窓会はOB間の橋渡しのための新たな企画を検討しています。まもなく同窓会も50周年を迎えますが、友好の絆が、社会貢献・母校発展に寄与することを願っています。

同窓会の母校支援活動

同窓会では、母校支援活動として在校生で、善行・社会貢献で顕著な行為を行った者、スポーツ・芸術等で顕著な成績を収めた者、またはやむを得ない事情で学費の出費に極めて困難な状況にある者等に対し、表彰あるいは教

科書代等の援助を行っています。毎年数名の対象者が出ており、学校はもとより関係者から感謝されております。また、スポーツで全国大会出場には横断幕を作成し、健闘を称えております。

同窓会のホームページを開設しました。

<http://homepage3.nifty.com/nanko-ob/>

同窓会員の皆様は、企業内はもとより、教育・行政・政治などの分野をはじめ、学会、法曹界、スポーツ界などで幅広く活躍されております。これらの方々々とネットワークができ、同窓生の相互親睦がより深まることを期待して、この度ホームページを開設しました。併せて母校の近況などもお伝えしていきたいと思っております。

広告を募集しています。南高OBの方が直接関わる会社・商店・個人の事業などで、掲載のご希望がありましたらお知らせください。特に、同窓生に対するメリットなどがありましたら大歓迎です。

掲載料は無料です。原稿を同窓会事務局へFAXでお送りください。

(詳細別途打合せ)

同期会レポート

5期生同期会（還暦の年）

2002年10月19日（土）思い出の地、上大岡スカイラウンジ「アリエス」で南高5期の同期会が開催されました。80歳になられた小島先生はじめ4名の恩師を含めて112名が参加して、24階「アリエス」からの美しい夜景もそっちのけで、60歳の再会に全員夢中の様子でした。

同期の鎌田くん、手塚くん、大谷くんがメンバーになっているハワイアンバンドの演奏もあり会場は大いに盛り上がりました。

当日は「アリエス」での本会に先立ち、母校校舎の見学も行われ、同期の大橋校長のご案内で在校当時とは全く違う、素晴らしい施設をもった校舎に感心させられ、礼儀正しい在校生とも会話している姿も見受けられました。

本会では、この年の9月に大岡川に現れた「タマちゃん」の話題にも花が咲き、忘れられない“還暦の年”の同期会になりました。（寄稿：平田 実）



チャンスを作ったり、更に卒業中学校毎に集まり記念写真をとったり語り合ったりした。「エエツ！君と一緒にだった？」「すみません、貴方は何方でしたか？」などと驚きや忘れてしまった事など思い出したり、全く楽しい時間を過ごした。

ただ、我々も来年は還暦、既に退職した人、時代の波でリストラにあった人、でも頑張る人など今更人生の厳しさを感じる一時でもあった。化学の丸山先生、数学の石川先生、英語の梅津先生にもご参加いただき、益々お元気なご様子で感心させられた。また、代表して丸山先生にご挨拶いただいたがお言葉に感激し、「還暦などとは言って居られないぞ！」と自分に鞭を飛ばした。恐らく参加者は皆そう思ったに違いない。多くの同年代の者が一同に会し、懐かしい学生時代の話や、今回のテーマの一つであった修学旅行の帰りに列車が豪雨により丹名トンネルに閉じ込められた時の恐怖、やっと横浜に帰ったら、豪雨により散々な目に会った街、家のなかった人など、懐かしい話が次々に飛び出し、その一瞬が南高生に戻っているのである。それが白髪や薄くなった頭のオヤジ、化粧はしているがやはり歳を重ねたご婦人、楽しいではありませんか。子供に戻って、はしゃいで、普段の生活では決して見られない光景、これが同窓会だ。開催できて、喜んでもらい、本当に良かった。幹事の一人として感激に胸をなでおろしました。（寄稿：蒲谷 寿昭）



6期生同期会（第6回テーマ：ルーツを求めて）

没故者に対する1分間の黙祷の後、会場が明るくなり、途端に華やかな雰囲気に満ち溢れた。会場割れんばかりの拍手に迎えられ会長の甲高い開会の宣言により4年振りの第6回同期会である。平成14年10月19日、花園橋ガーデンホテル5階で華やかに幕が切って落とされた。6期生は原則として5年を周期に同期会が開催されてきた。しかし平成15年は我が母校の50周年記念に当り、1年に2回は？という声で1年早めて開催された。「今回が最後だ！」と事前に通知してあったので「最後なら出なくちゃ」と初めて参加する者もいて参加者は132名になり盛況である。お互いに久しぶりの出会いに感激し、握手をするやら、抱き合う者もいて、それぞれ大変な活況である。

今回は、「ルーツを求めて」と訳の解らないテーマを掲げた。卒業時のクラスから1年生のクラス毎に集まる

45期同窓会

成人式を迎えるにあたり、1月11日に45期の同窓会を開催しました。各クラスの幹事を中心に企画し、当日は140人も集まり、楽しい時間を過ごせたかと思われます。また、今回は異例でもある「球技大会」を行いました。懐かしい南高のグラウンドを使い、種目はサッカー。ジャージになった姿は高校生の時のまま…かな？

当日、お祝いに来てくださった先生方、同窓会副会長の桐生先輩、また、協力してくださった方々、本当にありがとうございました。これからまだまだ未熟な私たちをよろしくお願いします。（寄稿：木村 吏江）



母校の50周年をみんなでお祝いしましょう！

母校が2003年で50周年を迎えます。同窓会、後援会、PTA共催で母校にご協力を頂きながら記念祝賀会を開催することになりました。お誘い合わせの上、是非ご参加ください。あわせて記念誌が発行されます。

- 日時/2003年11月30日(日)
- 場所/南高校アリーナ(体育館)
- 会費/5,000円(記念誌代含む)

参加希望の方は、Faxで住所・氏名・電話番号・卒期を明記の上、同窓会事務局(FAX:045-743-4475)へご連絡ください。

詳細が決まり次第、振込み用紙をお送りします。

なお、記念誌のみの購入もできます。(料金未定)

同期会・部活OB会等を支援します。

同窓会の交流を活発にして頂くために、同窓会がその規模等を勘案し、企画費用の一部を支援します。また、同窓会が管理する名簿を提供しますが、消息は皆さんで確認してください。なお、宛名ラベル印刷をご希望の場合は実費を戴きます。

詳細は事務局へFAXにて代表幹事の氏名・住所・電話番号・卒期・同期会/OB会別を明記の上、申請してご相談ください。(同窓会事務局 FAX:045-743-4475)

2002年度(平成14年度)同窓会表彰

本年度、スポーツ部門で顕著な成績を収めた現役生徒の栄誉を称え、以下の方々が同窓会から表彰されました。

個人表彰

氏名	学・組	部	表彰内容
野口 真希	2年4組	弓道部	平成14年度全国高等学校総合体育大会 兼 第47回全国高等学校弓道大会 出場
峯村美由起	2年5組	弓道部	平成14年度国民体育大会 関東ブロック大会出場 女子団体 近的8位 遠的7位 総合8位
山本 幸	2年3組	弓道部	平成14年度 関東高等学校弓道個人選手権大会出場
井上 直紀	2年6組	陸上競技部	平成14年度 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会出場 男子やり投げ
間辺 喜一	1年1組	陸上競技部	平成14年度 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会出場 男子走り高跳び

団体表彰 弓道部 平成14年度 第2回 東日本高等学校弓道大会出場

女子団体5人制	優勝	野口 真希	2年4組	女子団体3人制	ベスト8	野口 真希	2年4組
		峯村 美由起	2年5組			峯村 美由起	2年5組
		林 美歩	2年3組			土井 真由美	2年6組
		土井 真由美	2年6組	女子団体3人制	出場	林 美歩	2年3組
		向田 香緒里	2年1組			高橋 悠	2年6組
						渡部 友美	2年5組

退任のごあいさつ



前校長 大橋 一博

5期生として南高を巣立ってから40年後、私は教員として南高に戻りました。近代的な校舎と充実した施設の中での生徒たちは、明るく爽やかで当時の南高気質そのものでした。

私は、この後輩たちのために全力を尽くそうと決心し、

3年間過ごしてきましたが、この度、3月31日をもって南高等学校を最後に教職生活を終えることとなりました。在職中、同窓会の皆様におかれましては、大きなご支援、ご協力を賜り深くお礼申し上げます。

本年度より単位制高校として生まれ変わった南高を、これからも温かく見守っていただければ幸いです。私も一同窓生として若き後輩たちの活躍を楽しみにしております。3年間本当にありがとうございました。

着任のごあいさつ



学校長 葛野 泰男

お久しぶりでございます。残り任期2年。花・風・憧憬の南高に戻ってまいりました。

高校時代のサッカー部活動で成し遂げた県新人大会優勝・関東大会県代表・全国高校選手権大会県代表の喜びから、より極めたいと1部リーグ所属の大学に進学し精進していましたが、いつしか世界に通じる考え方を次代に伝えたいとの思いが募り教職の道を選びました。定時制工業高校での雌伏3年、願いが叶い昭和45年4月から全日制の南高等学校に赴任することができました。振り返れば、静岡遠征の最終日に転勤命令を受けたことを伝えた時の38期生・39期生の恨めしそうな顔には本当に後ろめたく気の滅入った帰浜でしたが、3年生であった15期生から39期生の1年生終了時まで23年間思いのま

まに指導させていただいたと感謝いたしております。

教育委員会事務局勤務の5年間は高校教育改革が主題であった関係から、鶴見工業高校を平成18年4月開校を目的に、21世紀の主導役となれるような科学技術高校への改編と近隣地への新築計画に勤しんでおりました。新校の完成を待たずに勇退となるが、途中で放り出すことはできないし、もう南高には関われないのかな？との郷愁めいたものを押し殺していたのですが、神のお恵みなのかどうか、再び関われることになりました。

つきましては、南高校も本年5月1日に満50歳を迎え、11月30日（日）に記念式典並びに祝賀会を挙行いたします。3年後には同窓会も満50歳となりますが、50年の節目を期に新たな展望を語りつつ、15歳の入学者・18歳の卒業者に焦点を合わせた新しさを共に持ち合わせたいと考えます。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

教職員異動（敬称略）

〈退任された教職員〉

学校長 大橋 一博 定年退職

〈転任された教職員〉

理科 中田 一義 横浜総合高校へ

国語科 石原 純 横浜総合高校へ

技術 日野原 智 日野養護学校へ

事務 渡部 裕子 瀬谷区役所へ

〈着任された教職員〉

学校長 葛野 泰男 鶴見工業高校より

理科 金子 哲也 横浜商業高校定時制より

国語科 吉田 哲二 港高校より

情報科 大原 直志 港商業高校より

技術 中村日出男 桜台小学校より

事務 金澤里江子 港南区役所より

47期幹事紹介

組	氏名
1組	城山 伸好
1組	渡辺 友美
2組	金子 尚人
2組	福本友夏里
3組	我妻 辰哉
3組	山本 愛徳
4組	山田 幸治
4組	原田 絵里
5組	竹下 里美
5組	坂 亮太
6組	磯谷 大樹
6組	岩本 絢子